学校法人みどり学園

≪令和 5 年度財務の概要≫

平素はみどり学園の発展のため、多くの皆様方からご支援ご協力を賜りありがとうございます。皆様のご厚情に応えるべく、関係者一同本学園の学校教育機能向上のため日々の業務に励んでおります。今後ともよろしくお願い申しあげます。

さて、本みどり学園の本年度(令和 5 年度)の財務の概要を報告いたします。

○　令和元年度よりみどり学園の短期大学に設置された松江キャンパス(保育・幼児教育学科)は、幼稚園教諭免許と保育士資格を 2 年間で取得できる私立短大を島根県にも生み出したことによって、本短期大学全体の在学生数も回復してきました。

事業活動収支は令和 3 年の堺市高倉台への移転を完了し、分散していた学舎による膨らんだ諸経費も整理縮小に向かうことができ、事業活動収支における教育活動収支差額は大学全体では 27,739 千円となり、昨年に比べて赤字を 8,033 千円少なくすることができました。

○　短期大学の学生募集では全体で 96 名の新入生を迎え在籍者は 208 (別科生含まず)となりました。これは 240 名の定員の 86.7%(前年度 92.1%)です。定員割れが継続し、借入金の返済支出等も大きく次年度への短大の支払資金は 3.06 億円と厳しいものになってしまいました。

○　短期大学設置 22 年目に入った本年度は、幼稚園を含む法人全体で 233,226 千円(昨年 237,874 千円)の学生生徒等納付金収入になりました。短大の学生数にともなう教育研究経費の増加などで、国庫補助金は前年度より減の 116,642 千円となりました。寄付金は特別 5,523 千円、一般 5,642 千円でした。

一方、法人全体では本年度の基本金取崩額 256 千円でしたが、積年の事業活動の翌年度繰越収支差額は△1,259,863 千円となり、赤字を 72,845 千円増大することになりました。

当初の「シェアタウン泉ヶ丘ネクスト」の計画が、コロナ禍による建築資材等の遅れなどで予定どおり進まず、堺市の配慮を得るとともに短期大学では中長期的課題を見直し、緊急課題として事業活動収支における翌年度繰越収支差額を少しでも黒字にしなければならないと努力しています。

○ 長・短期借入金では運転資金を含む必要支払資金として市中金融機関・その他から新たに 6,750 千円を借入れ、本年度返済額 110,099 千円を返済し、残高は 226,754 千円減の 1,008,997 千円となりました。

また、短期大学部門の課題であった減価償却引当特定資産や退職給与引当特定資産の積立は、昨年同様次年度以降の課題とせざるを得ませんでした。

2024 年 6 月 1 日

学校法人みどり学園

理事長 平尾達夫